

令和6年度

生活市道整備事業

篠4号線道路改良工事

仕様書

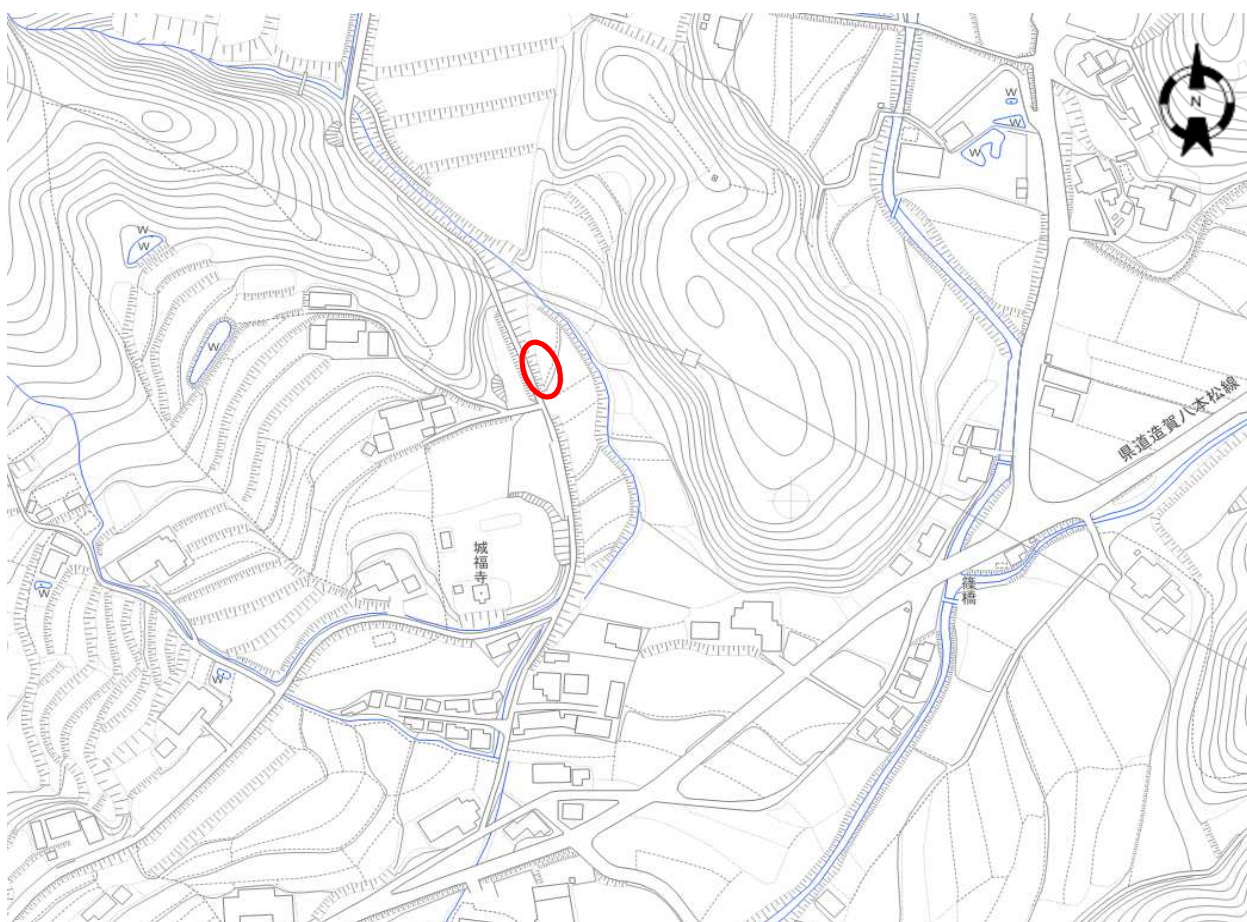
施 工 場 所 東広島市八本松町正力

位置図

(広域図)



(詳細図)



特 記 仕 様 書

(令和6年度 生活市道整備事業 篠4号線道路改良工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任（監理）技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等
12. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 熔融スラグを利用した資材の使用

第3章 施工条件

1. 用地
 - (1) 借地
2. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
3. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土（工事内流用）
 - (2) 購入土（搬入）（建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土）

第4章 施工管理

1. 出来形管理
 - (1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

第5章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 仮設工

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

- ・現場作業

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書(令和6年8月)広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム(受注者希望型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(受注者希望型)である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)

<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyoushoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。

- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
- 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」又は「東広島市週休2日適用工事等実施要領（農林工事）（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

- (2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認
受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
 - (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
 - (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
 - (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	

3. 溶融スラグを利用した資材の使用

1. 溶融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する溶融スラグ（以下「溶融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。溶融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「溶融スラグの有効利用促進等に関する方針」「溶融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

2. 品質管理及び確認

1. で示したもののほか、溶融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和6年8月)」及び広島版「施工管理基準(令和6年8月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3. 再生加熱アスファルト混合物への使用

溶融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書(令和6年8月)」の「1-1-2-16 環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4. 適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和6年8月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項 1.」）ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする

第3章 施工条件

1. 用地

(1) 借地

あらかじめ市が依頼し承諾を得た土地があるため、次の条件により借地すること。

場所 八本松町正力662-1、663-1

期間 工事期間中

使用条件 工事用道路として使用

復旧方法 借地範囲を整地して返すこと。なお、土地所有者の現地確認を行うこと。

2. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

3. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、 73m³(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

(2) 購入土(搬入)(建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)

本工事では、40m³(ほぐし)の土砂購入を見込んでいる。

- ① 当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土(改良土を含む。)を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費(工場渡し)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用(単価)は変更しない。
- ② ①により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督職員と協議すること。
- ③ 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

第4章 施工管理

1. 出来形管理

(1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

本工事において、路面に天端が接する構造物の出来高管理は下記のとおり行うこと。なお、下記以外の項目については、広島県制定「土木工事施工管理基準(令和6年8月)」に基づいて実施しなければならない。

工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
道路面に天端が接する構造物(コンクリートブロック工、コンクリート擁壁工、側溝工等)	基準高さ▽	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

第5章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当たっては、広島県制定「写真管理基準(令和6年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳と原本(電子媒体)を各1部提出する。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 仮設工

仮設工(任意)については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
道路改良		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
路体盛土工		式		1	レベル3
路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m以上4.0m未満	m3		10	レベル4
路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3		40	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	補足土	m3		30	レベル4
補足土(ほぐし)		m3		40	レベル4
石・ブロック積(張)工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り	土砂 小規模	式		1	レベル4
埋戻し	小規模	式		1	レベル4
Coブロック工(Coブロック積)		式		1	レベル3
コンクリートブロック基礎	1号基礎 18N/mm2	m		35	レベル4
コンクリートブロック基礎	2号基礎 18N/mm2	m		6	レベル4
コンクリートブロック積	控35cm 裏コン10cm 滑面ブロック 1:0.5	m2		64	レベル4
コンクリートブロック積	控35cm 裏コン15cm 滑面ブロック 1:0.5	m2		15	レベル4

工事数量総括表

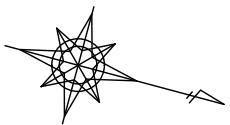
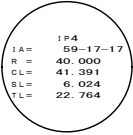
頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
胴達・裏込材(砕石)	RC-40	m3		18	レベル4
天端コンクリート	1号 18N/mm2	m		35	レベル4
天端コンクリート	2号 18N/mm2	m		6	レベル4
排水構造物工		式		1	レベル2
集水桝・マンホール工		式		1	レベル3
現場打ち集水桝	3号集水桝 18N/mm2	箇所		1	レベル4
場所打水路工		式		1	レベル3
現場打水路	L型水路(C) 18N/mm2 B300-H300	m		40	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
工事用道路工		式		1	レベル3
敷鉄板	22×1524×3048,802kg/枚	式		1	レベル4
※※直接工事費※※					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
仮設材運搬費	敷鉄板	式		1	レベル4
共通仮設費率分					
※※共通仮設費計※※					

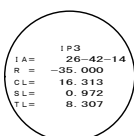
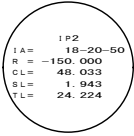
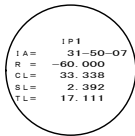
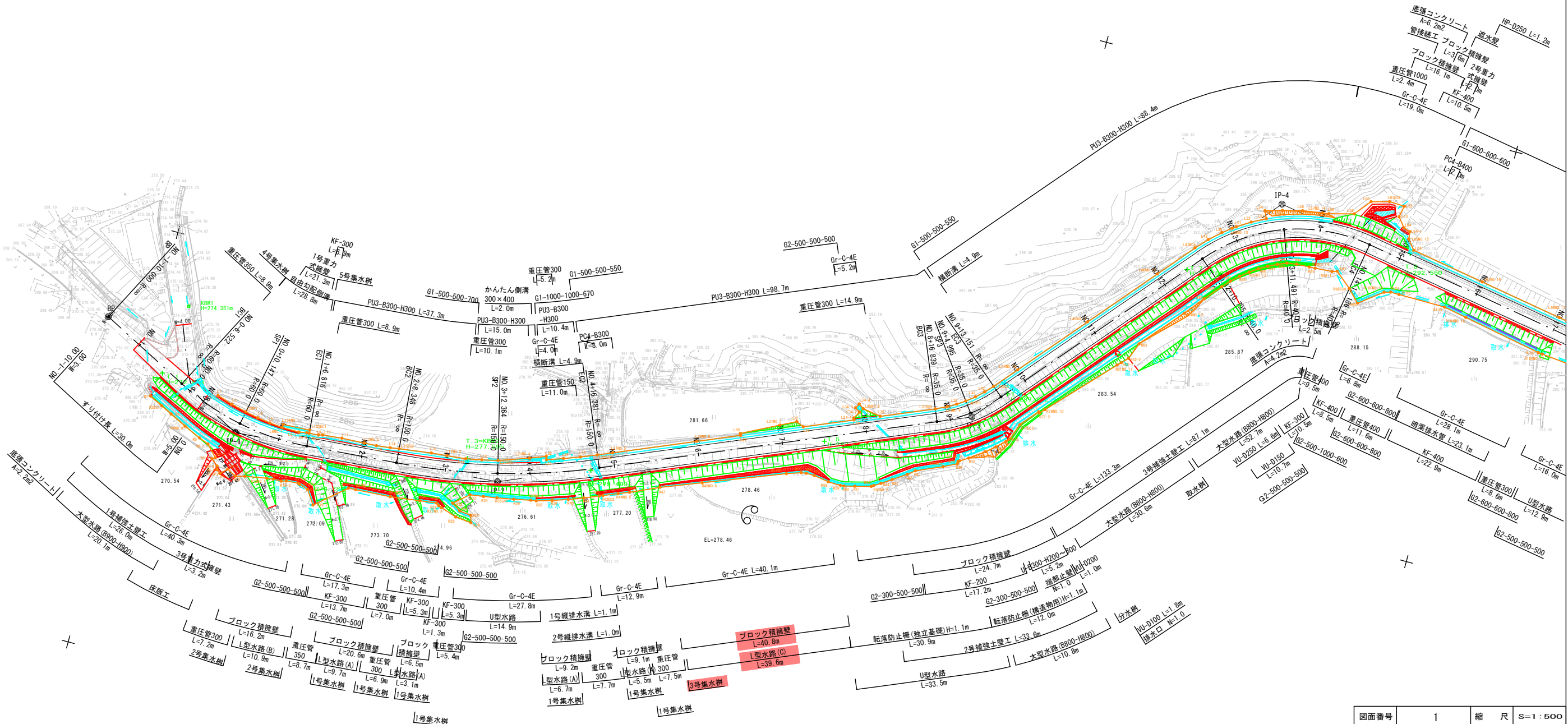
工事数量総括表

頁0 -0003

[illegible]



S=1 : 500



令和7年度 工事区間
L=40.8m

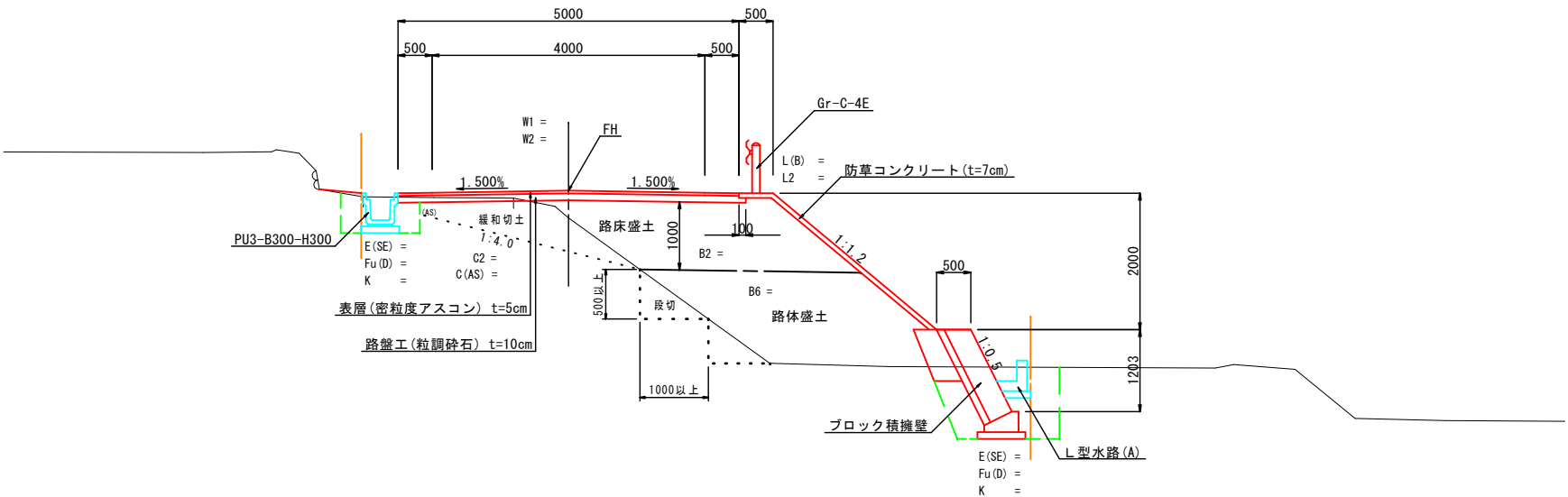
図面番号	1	縮 尺	S=1 : 500
工 種	道路改良事業		
種 別	平 面 図	番 号	1 / 1
路 線 名	篠 4 号 線		
工事箇所	東 広 島 市 八 本 松 町 正 力		
東 広 島 市			

図面番号	2	縮 尺	図 示
工 種	道 路 改 良 事 業		
種 別	縦断面図	番 号	1 / 1
路 線 名	篠 4 号 線		
工事箇所	東広島市八本松町正力		
東 広 島 市			

曲 線	測 点	追 加 距 離	単 距 離	地 盤 高	計 画 高	切 土	盛 土	勾 配 図
R=∞ L=23.478 IP. 1 IA=31° 50' 7" TL=17.111 CL=33.338 SL=2.392 R=60.000 LC=33.338 R=∞ L=21.532 IP. 2 IA=18° 20' 50" TL=24.224 CL=48.033 SL=1.943 R=150.000 LC=48.033 R=∞ L=80.458 IP. 3 IA=26° 42' 14" TL=8.307 CL=16.313 SL=0.972 R=36.000 LC=16.313 R=∞ L=57.644 R=40.000 LC=41.391 IP. 4 IA=59° 17' 17" TL=22.764 CL=41.391 SL=6.024	BP	-30.000	0.000	270.74	271.720		0.000	R=∞ L=23.478 IP. 1 IA=31° 50' 7" TL=17.111 CL=33.338 SL=2.392 R=60.000 LC=33.338 R=∞ L=21.532 IP. 2 IA=18° 20' 50" TL=24.224 CL=48.033 SL=1.943 R=150.000 LC=48.033 R=∞ L=80.458 IP. 3 IA=26° 42' 14" TL=8.307 CL=16.313 SL=0.972 R=36.000 LC=16.313 R=∞ L=57.644 R=40.000 LC=41.391 IP. 4 IA=59° 17' 17" TL=22.764 CL=41.391 SL=6.024
		-20.000	10.000	271.72	271.720		0.170	0.000
		-10.000	10.000	273.07	272.900	0.170	0.147	273.885
		-6.522	3.478	273.37	273.223	0.147		
		0.000	6.522	273.73	273.710	0.020		
		10.147	10.147	274.09	274.344		0.254	
		20.000	9.853	274.86	274.960		0.100	
		26.816	6.816	275.59	275.986	0.204		
		40.000	13.184	276.18	276.210		0.030	i=6.250% L=110.000m
		48.348	8.348	276.47	276.732		0.262	
		60.000	11.652	276.84	277.460		0.020	
		72.364	12.364	278.01	278.233		0.223	
		80.000	7.636	278.42	278.710		0.290	
		96.381	16.381	279.71	279.728		0.018	279.960
		100.000	3.619	279.82	279.946		0.126	
	120.000	20.000	280.70	281.100		0.400	i=5.700% L=55.000m	
	140.000	20.000	282.10	282.240		0.140		
	155.000	15.000	283.20	283.253		0.053	283.895	
	160.000	5.000	283.56	283.724		0.174		
	176.839	16.839	285.81	285.710	0.100		i=12.000% L=30.000m	
	180.000	3.161	286.12	286.051	0.069			
	184.985	4.985	286.45	286.519	0.069		286.895	
	185.000	0.005	286.45	286.520	0.070			
	183.151	8.151	287.11	287.097	0.013		i=5.000% L=30.000m	
	200.000	6.849	287.45	287.445	0.005			
	215.000	15.000	287.99	288.295		0.305	288.895	
	220.000	5.000	288.43	288.670		0.240		
	240.000	20.000	290.41	290.408	0.002		290.895	
	245.000	5.000	290.56	290.748		0.188		
	250.795	5.795	290.73	291.049		0.319		
	260.000	9.205	291.02	291.360	0.090			
	271.491	11.491	291.71	291.716		0.006	i=3.100% L=109.000m	
	280.000	8.509	292.07	291.980		0.088		
	292.186	12.186	292.27	292.358		0.080		
	300.000	7.814	292.52	292.500				

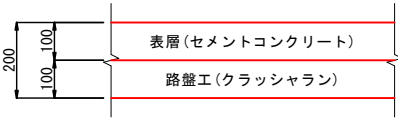
標準断面図(1)
S=1:50

NO. 6

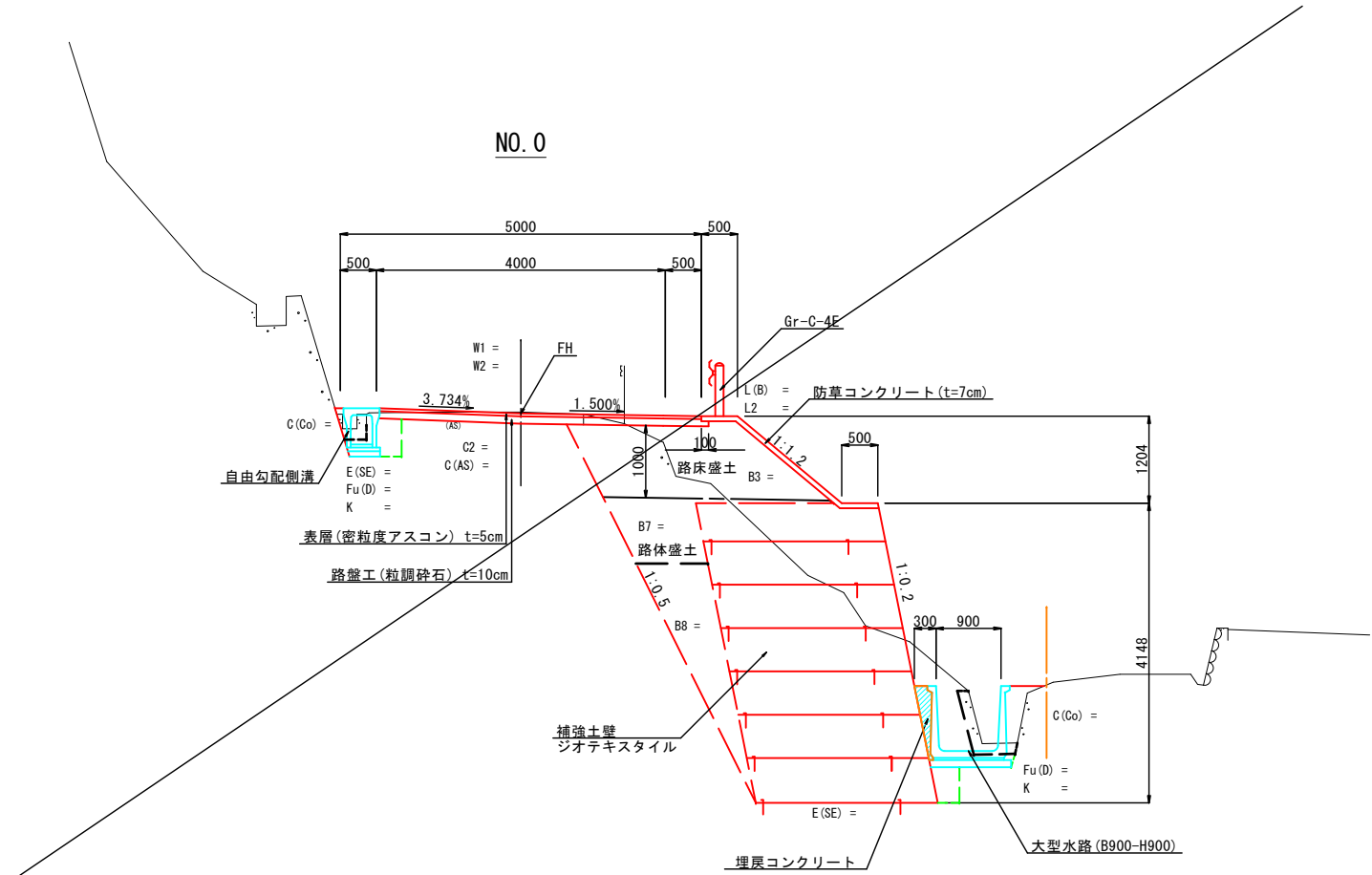


記 号 説 明		
記 号	種 別	摘 要
C1	オープン掘削（機械：土砂）	
C2	片切掘削（機械：土砂）	
C(As)	舗装剥ぎ取り（車道）t=5cm	
C(Co)	コンクリート取壊し	
E(SE)	床掘（土砂）	
Fu()	埋戻（区分A～D）	
L(SE)	切土法面整形（土砂）	
L(B)	盛土法面整形	
L1	切土法面工：張コンクリート	
L2	盛土法面工：張コンクリート	
L3	盛土法面工：植生工	
K	基面整正	
B1	路床盛土（4.0m≦W）	
B2	路床盛土（2.5m≦W<4.0m）	
B3	路床盛土（1.0m≦W<2.5m）	
B4	路床盛土（W<1.0m）	
B5	路体盛土（4.0m≦W）	
B6	路体盛土（2.5m≦W<4.0m）	
B7	路体盛土（1.0m≦W<2.5m）	
B8	路体盛土（W<1.0m）	
B9	埋土	
W1～W2	車道舗装	

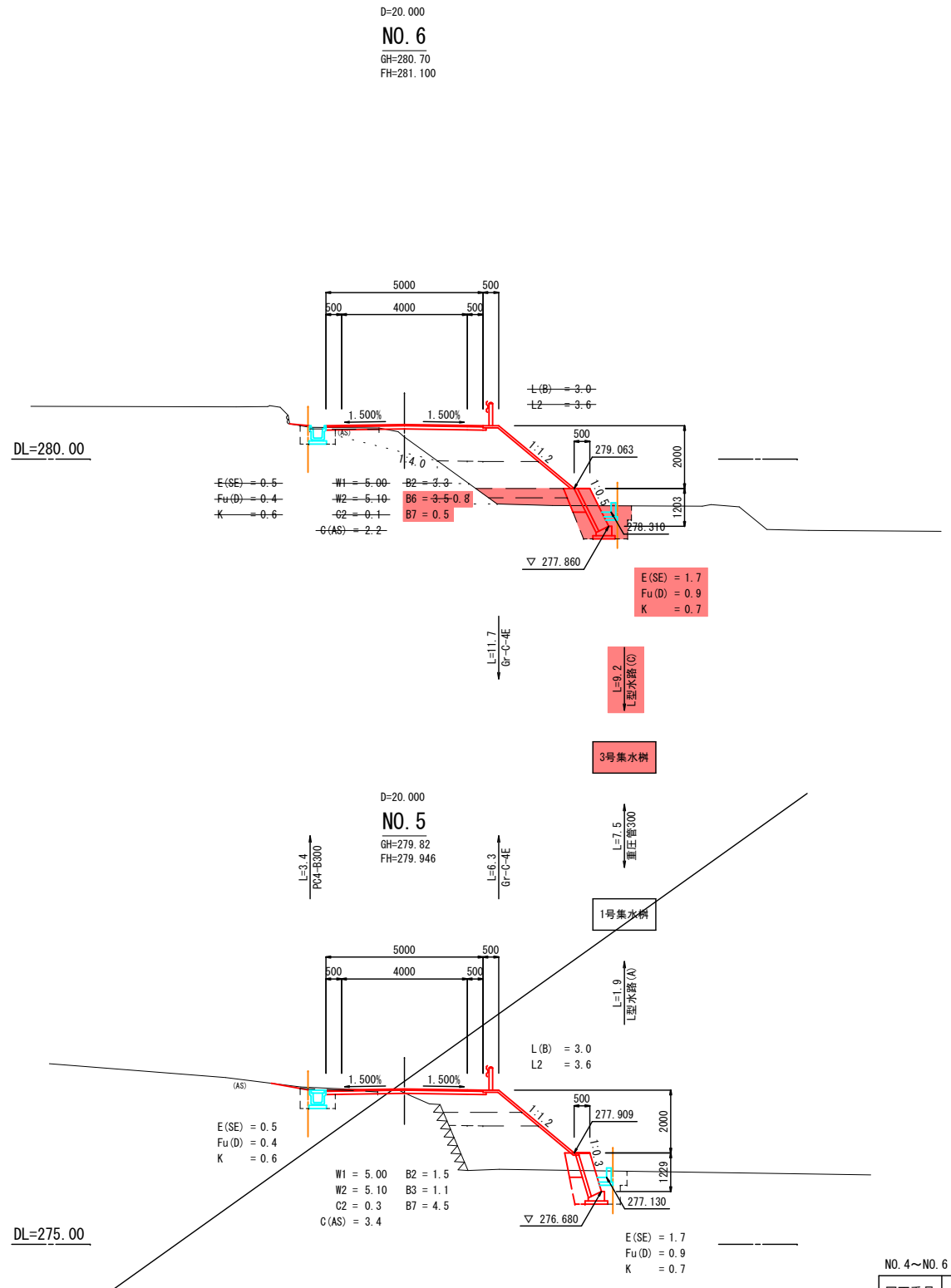
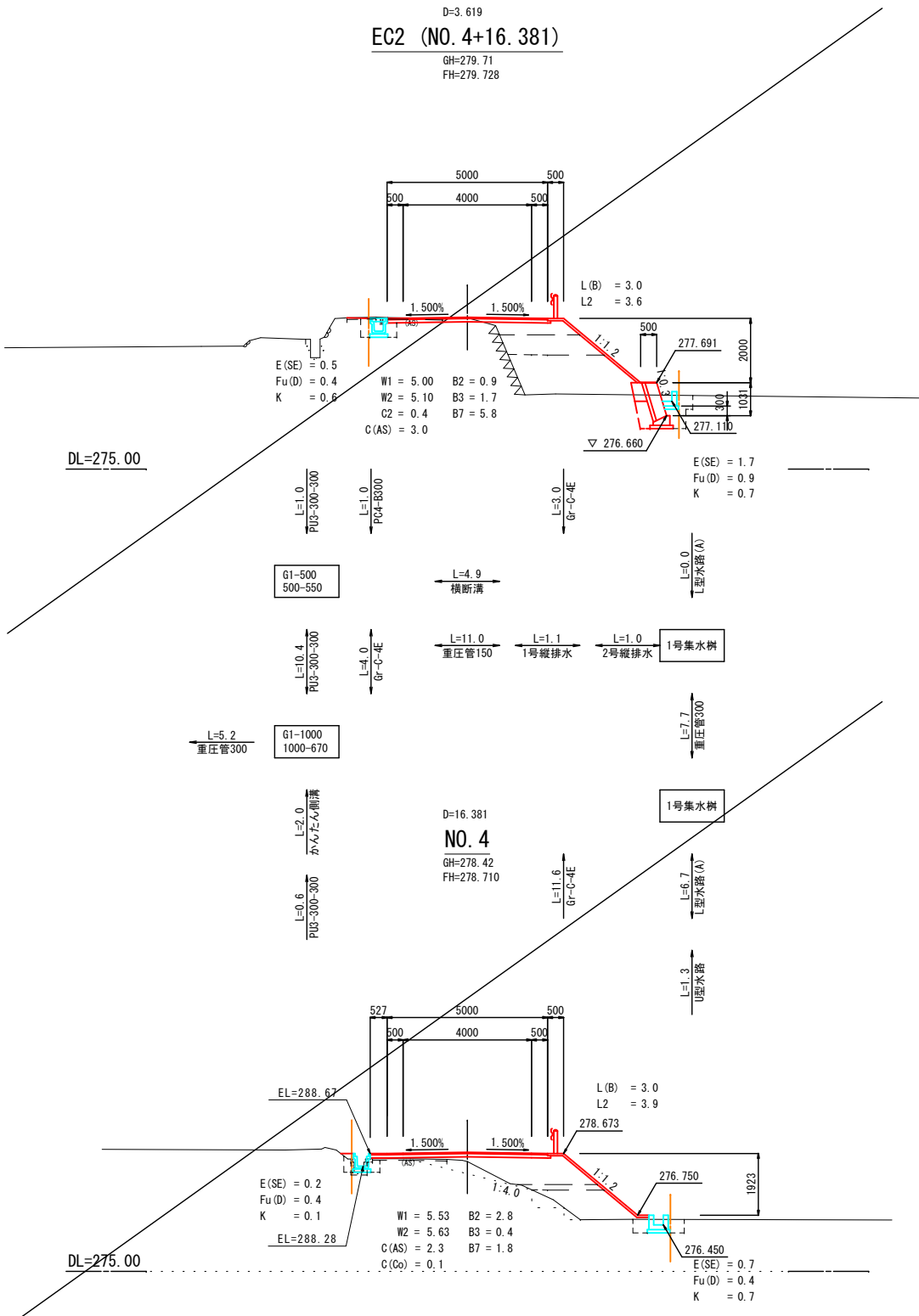
コンクリート舗装構成
S=1:10



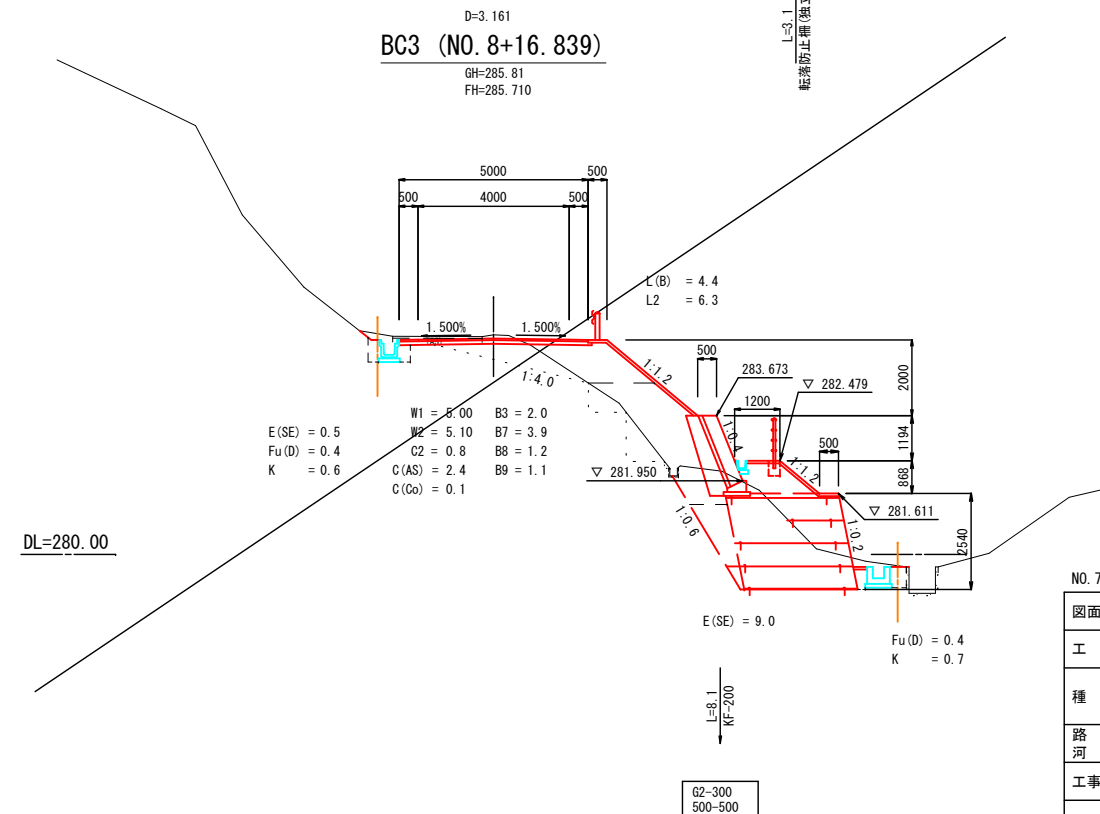
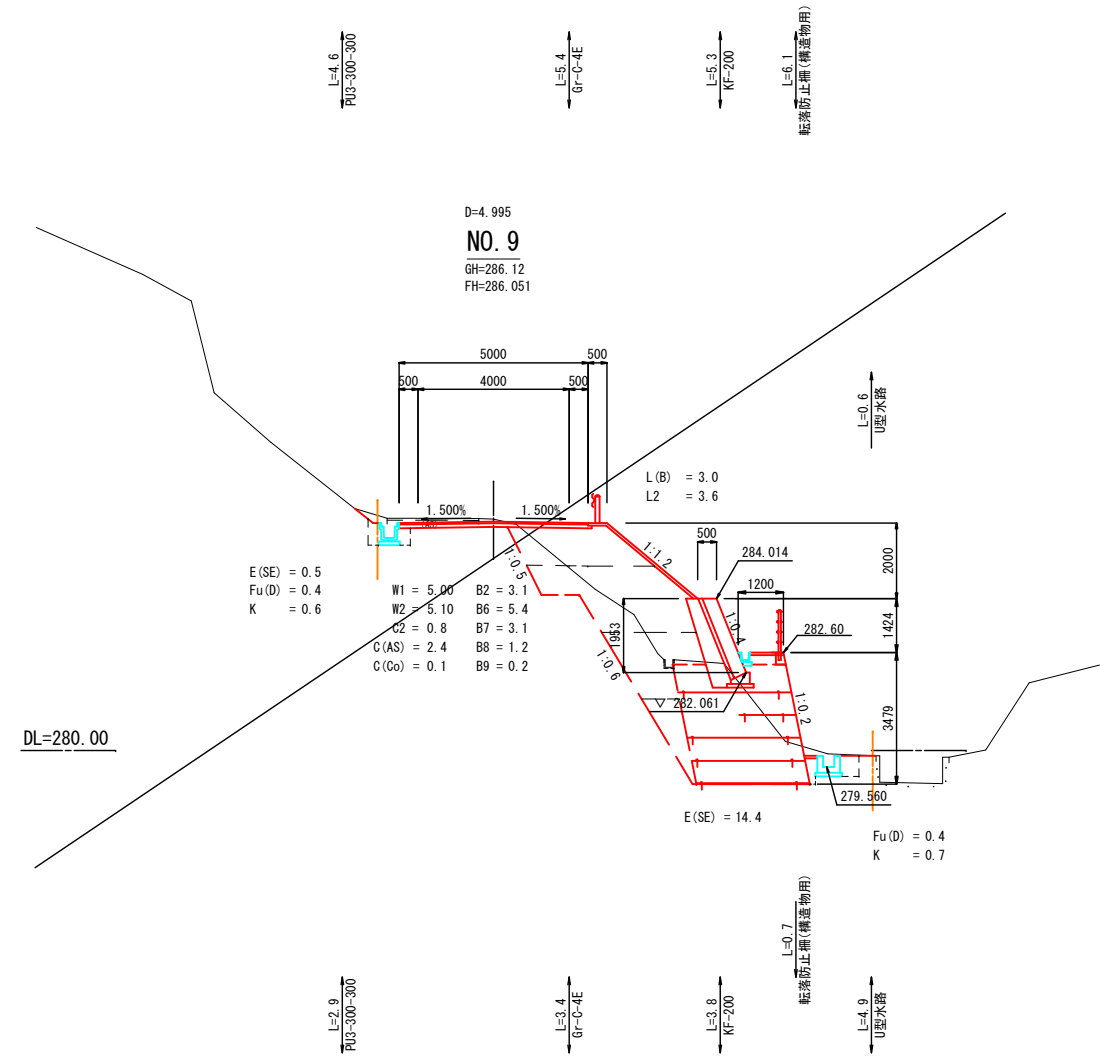
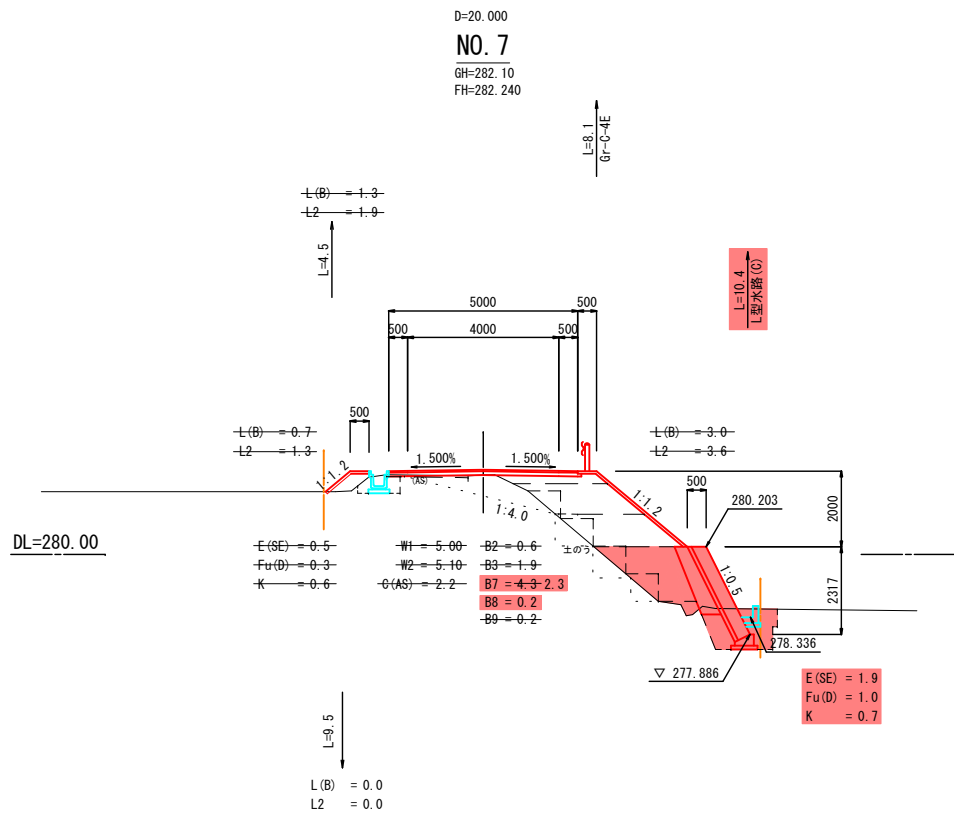
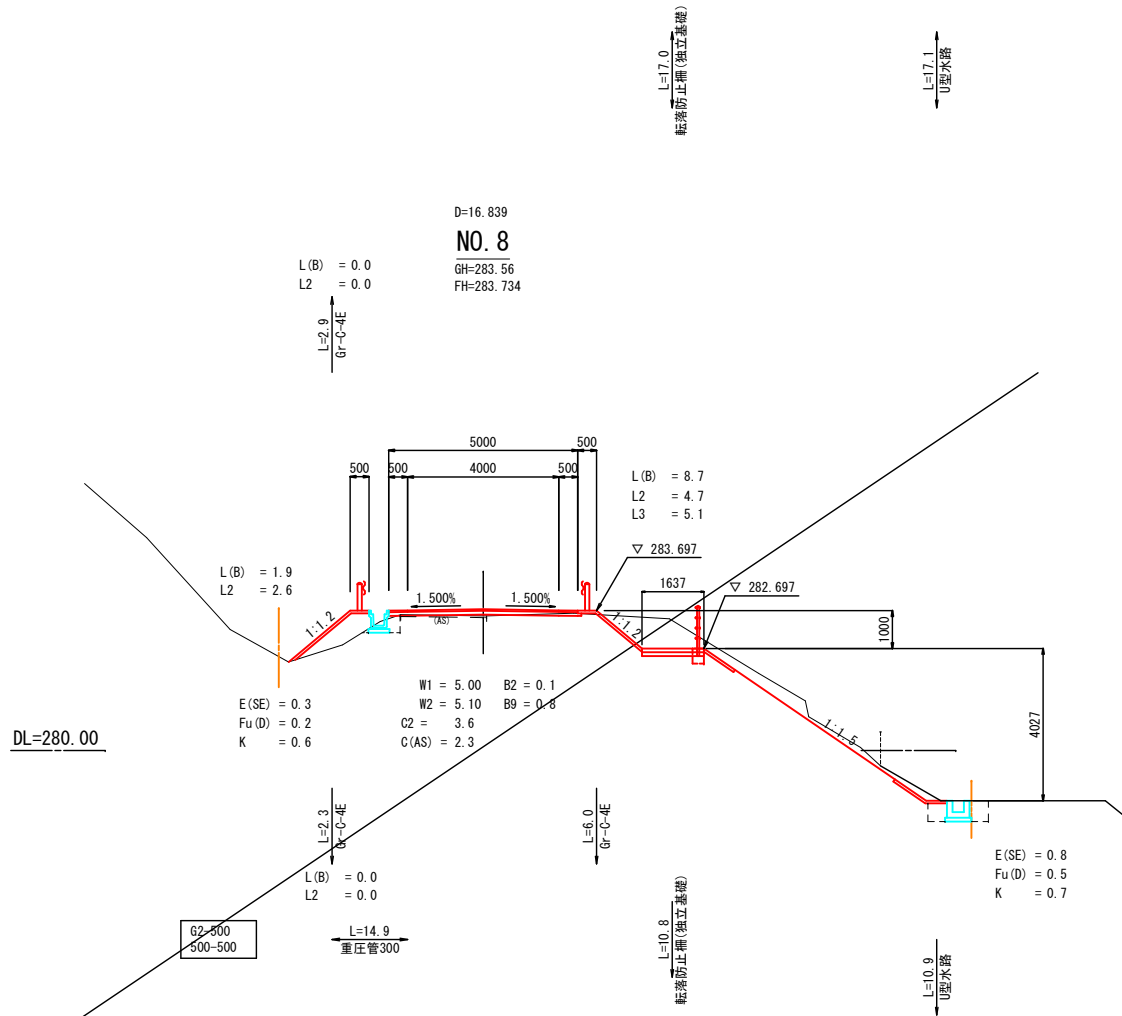
NO. 0



図面番号	3	縮 尺	1:50
工 種	道 路 改 良 事 業		
種 別	標準断面図	番 号	1 / 1
路 線 名	篠 4 号 線		
工事箇所	東広島市八本松町正力		
東 広 島 市			

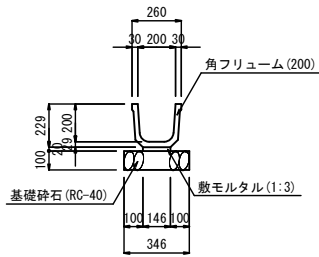


NO. 4~NO. 6			
図面番号	4	縮 尺	1:100
工 種	道 路 改 良 事 業		
種 別	横断面図		番 号 1 2
路 線 名	篠 4 号 線		
工事箇所	東広島市八本松町正力		
東 広 島 市			



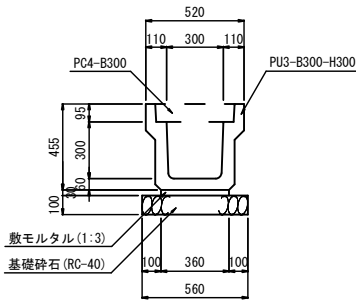
NO. 7~NO. 9			
図面番号	5	縮 尺	1:100
工 種	道 路 改 良 事 業		
種 別	横断面図		番 2 号 2
路 線 名	篠 4 号 線		
工事箇所	東広島市八本松町正力		
東 広 島 市			

KF-200 S=1:20



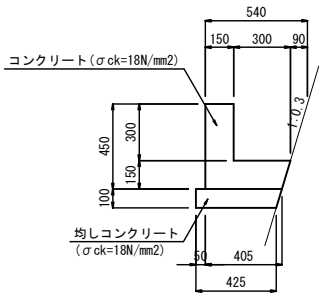
数 量 表					10m当り
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	
基礎砕石	RC-40, t=100	m2	3.460	V=0.346m3	
敷モルタル	1:3	m3	0.029		
側 溝	KF-200	m	10.000		

PU3-B300-H300 S=1:20



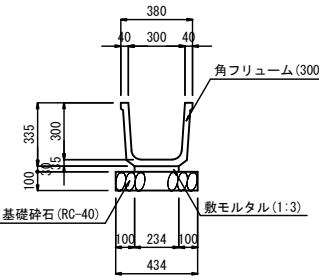
数 量 表					10m当り
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	
基礎砕石	RC-40, t=100	m2	5.600	V=0.560m3	
敷モルタル	1:3	m3	0.108		
目地モルタル		m3	0.002		
側 溝	PU3-B300-H300	個	5.0		

L 型水路 (A) S=1:20



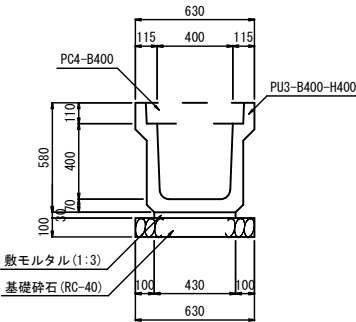
数 量 表					10m当り
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	1.091		
型 枠		m2	9.000		
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	0.440		
均し型枠		m2	1.000		

KF-300 S=1:20



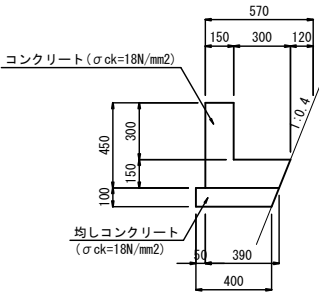
数 量 表					10m当り
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	
基礎砕石	RC-40, t=100	m2	4.340	V=0.434m3	
敷モルタル	1:3	m3	0.070		
側 溝	KF-300	m	10.000		

PU3-B400-H400 S=1:20



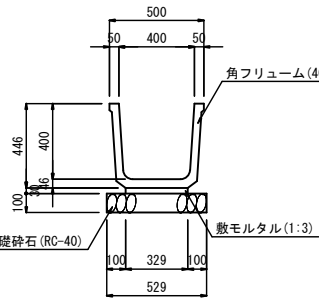
数 量 表					10m当り
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	
基礎砕石	RC-40, t=100	m2	6.300	V=0.630m3	
敷モルタル	1:3	m3	0.129		
目地モルタル		m3	0.003		
側 溝	PU3-B400-H400	個	5.0		

L 型水路 (B) S=1:20



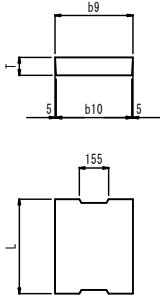
数 量 表					10m当り
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	1.080		
型 枠		m2	9.000		
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	0.420		
均し型枠		m2	1.000		

KF-400 S=1:20



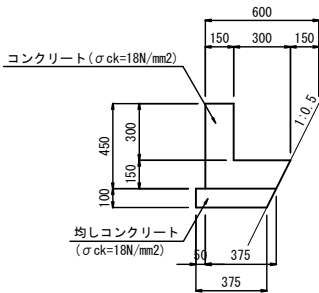
数 量 表					10m当り
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	
基礎砕石	RC-40, t=100	m2	5.290	V=0.529m3	
敷モルタル	1:3	m3	0.099		
側 溝	KF-400	m	10.000		

PU3用コンクリート蓋



PC4型寸法表						
記号	寸法表 (単位: mm)				1枚当り重量	摘要
	b9	b10	T	L	(kg)	
PC4-B300	412	402	95	500	45	JIS A 5346
PC4-B400	512	502	110	500	65	2種

L 型水路 (C) S=1:20

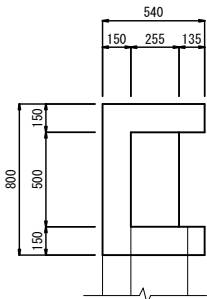


数 量 表					10m当り
種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	1.069		
型 枠		m2	9.000		
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	0.400		
均し型枠		m2	1.000		

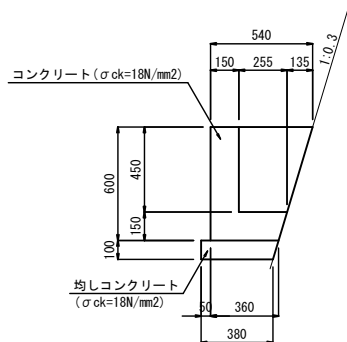
図面番号	6	縮 尺	図示
工 種	道 路 改 良 事 業		
種 別	構 造 図	番 号	1 / 2
路 線 名	篠 4 号 線		
工事箇所	東広島市八本松町正力		
東 広 島 市			

1号集水樹

S=1:20

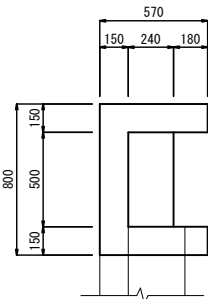


数 量 表		1ヶ所当り			
種 別	細 別	単位	数 量	摘 要	
コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	m ³	0.143		
型 枠		m ²	1.680		
均しコンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	m ³	0.036		
均し型枠		m ²	0.169		

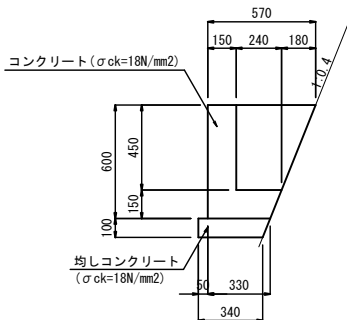


2号集水樹

S=1:20

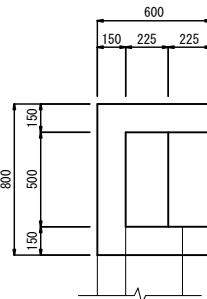


数 量 表		1ヶ所当り			
種 別	細 別	単位	数 量	摘 要	
コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	m ³	0.142		
型 枠		m ²	1.680		
均しコンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	m ³	0.032		
均し型枠		m ²	0.162		

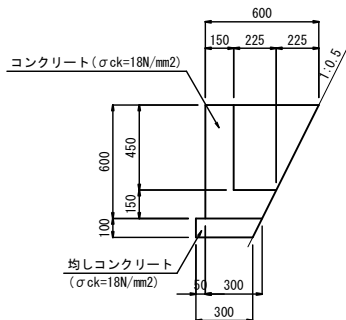


3号集水樹

S=1:20

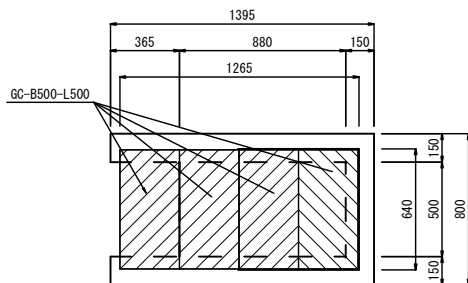


数 量 表		1ヶ所当り			
種 別	細 別	単位	数 量	摘 要	
コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	m ³	0.140		
型 枠		m ²	1.680		
均しコンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	m ³	0.029		
均し型枠		m ²	0.155		

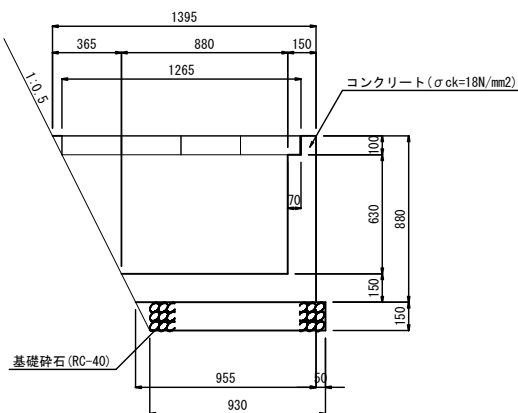


4号集水樹

S=1:20

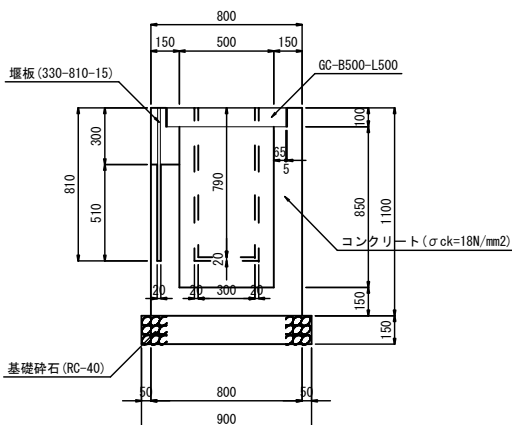
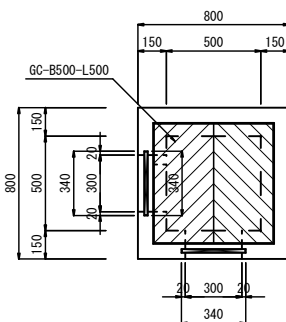


数 量 表		1ヶ所当り			
種 別	細 別	単位	数 量	摘 要	
コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	m ³	0.626		
型 枠		m ²	5.039		
基礎砕石	RC-40・t=150	m ²	0.837	V=0.126m ³	
コンクリート蓋	GC-B500-L500	枚	4.000		



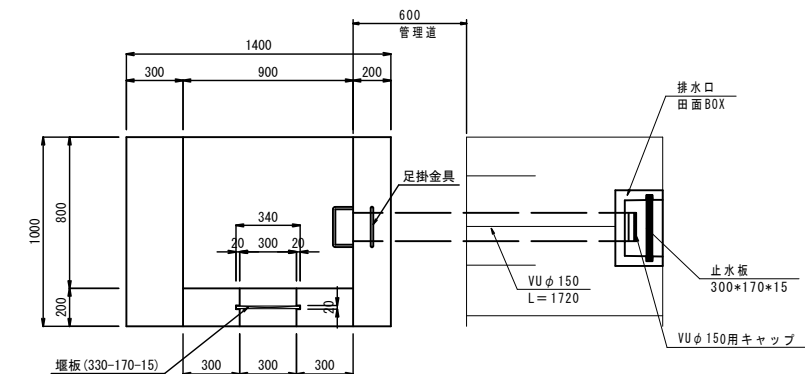
5号集水樹

S=1:20

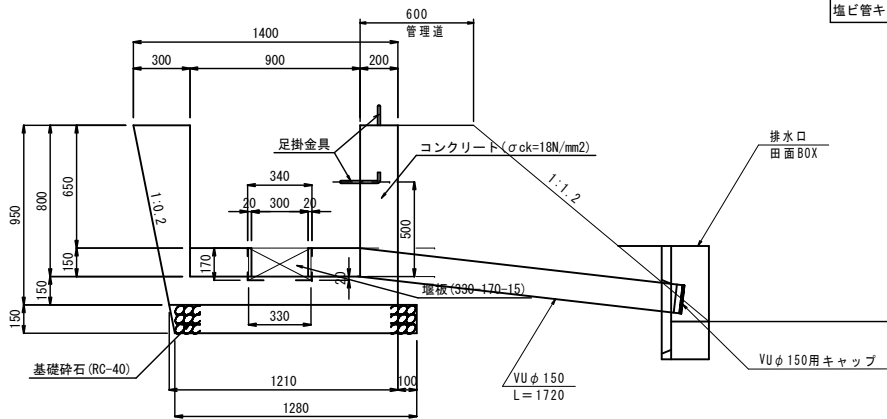


取 水 樹

S=1:20



数 量 表		1ヶ所当り			
種 別	細 別	単位	数 量	摘 要	
コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	m ³	0.682		
型 枠		m ²	6.330		
基礎砕石	RC-40・t=150	m ²	1.425	V=0.214m ³	
足掛金具	D13	個	2.000		
堰 板	330-170-15	枚	1.000		
排水口	田面BOX 400×600×250	個	1.0		
止水板	150×330×25	枚	1.0		
塩ビ管	VUφ150	m	1.72		
塩ビ管キャップ	VUφ150用	個	1.0		

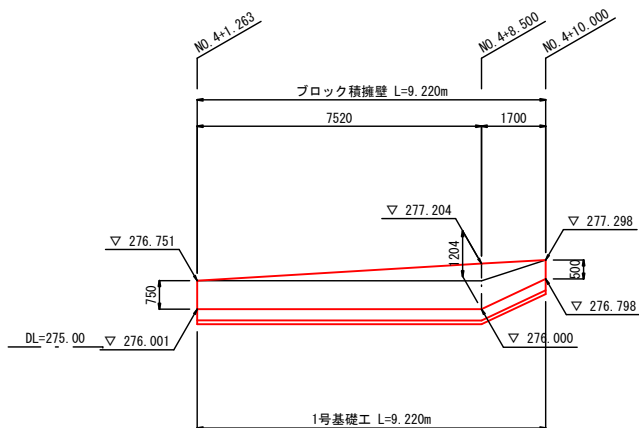


図面番号	7	縮 尺	図 示
工 種	道 路 改 良 事 業		
種 別	構 造 図		番 2 号 2
路 線 名	篠 4 号 線		
工事箇所	東広島市八本松町正力		
東 広 島 市			

ブロック積擁壁詳細図(1)

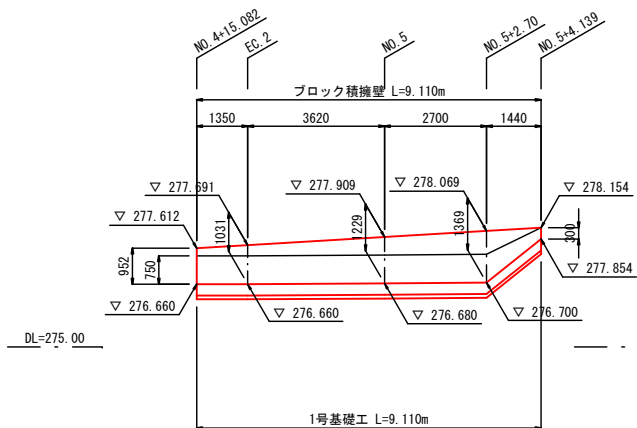
ブロック積擁壁展開図(盛土部, 1:0.3, t=100)
NO. 4+1.3~NO. 4+10.0右側

S=1:100



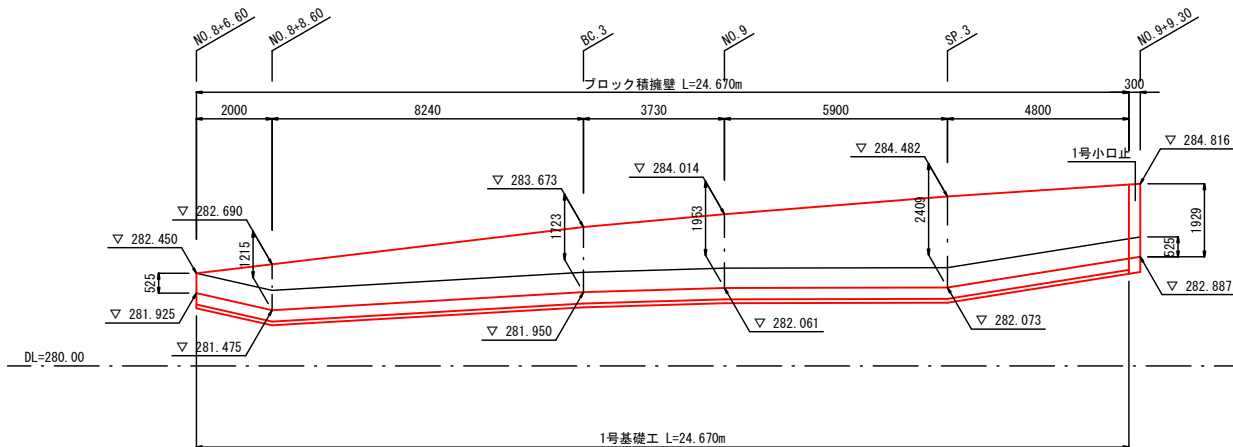
ブロック積擁壁展開図(盛土部, 1:0.3, t=100)
NO. 4+15.1~NO. 5+4.1右側

S=1:100



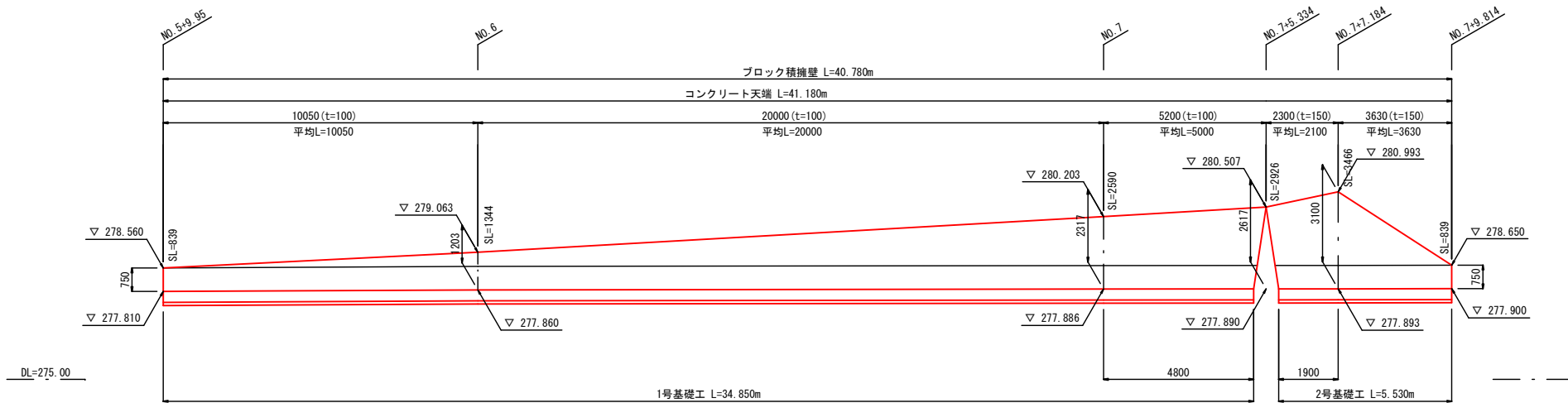
ブロック積擁壁展開図(盛土部, 1:0.4, t=100)
NO. 8+6.6~NO. 9+9.3右側

S=1:100



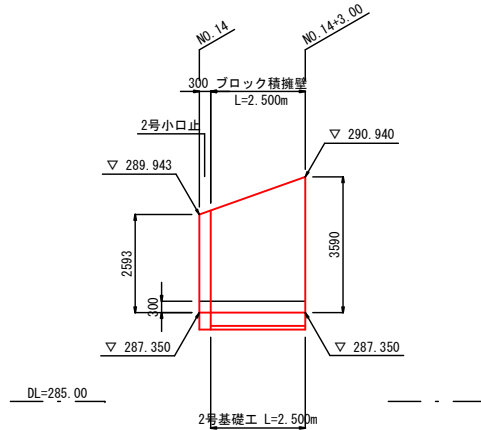
ブロック積擁壁展開図(盛土部, 1:0.5, t=100~150)
NO. 5+9.9~NO. 7+9.8右側

S=1:100



ブロック積擁壁展開図(盛土部, 1:0.5, t=150)
NO. 14~NO. 14+3.0右側(河川取付部)

S=1:100



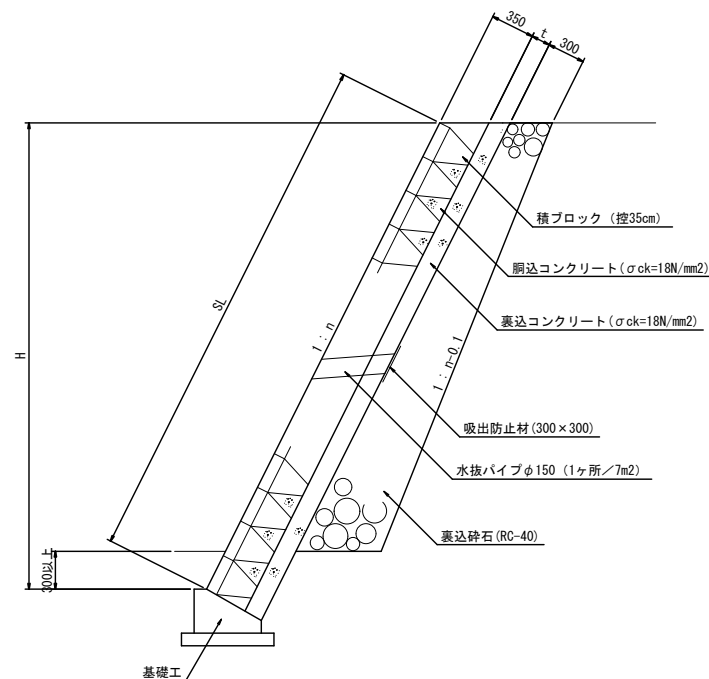
※伸縮目地の間隔は10m以下とすること。
水抜き孔は7.0m2に1箇所、硬質塩化ビニル管φ150を設置すること。

図面番号	8	縮 尺	図示
工 種	道 路 改 良 事 業		
種 別	ブロック積擁壁詳細図(1)	番 号	1 2
路 線 名	篠 4 号 線		
工事箇所	東広島市八本松町正力		
東 広 島 市			

ブロック積擁壁詳細図(2)

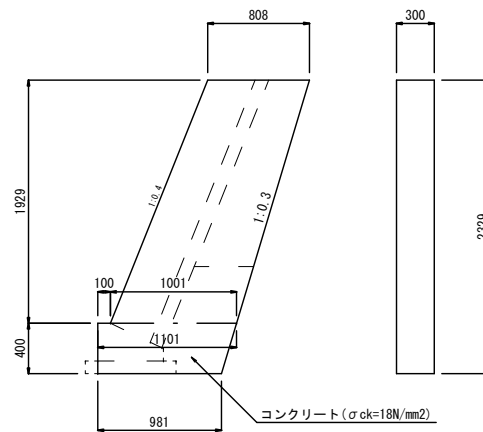
ブロック積擁壁（盛土部）

S=1:30



1号小口止

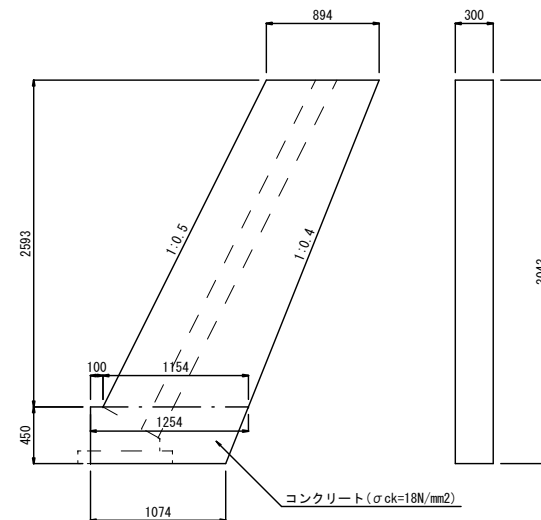
S=1:30



数量表					10m当り
種別	細別	単位	数量	摘要	
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.648		
型枠		m2	5.066		

2号小口止

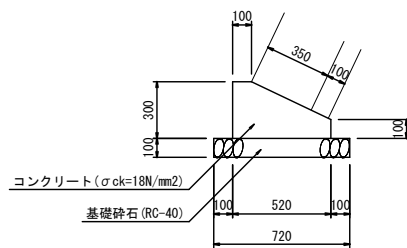
S=1:30



数量表					10m当り
種別	細別	単位	数量	摘要	
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.953		
型枠		m2	7.363		

1号基礎工

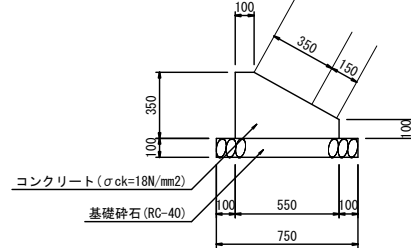
S=1:20



数量表					10m当り
種別	細別	単位	数量	摘要	
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	1.140		
型枠		m2	4.000		
基礎砕石	RC-40, t=100	m2	7.200		V=0.720m3

2号基礎工

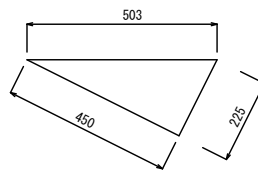
S=1:20



数量表					10m当り
種別	細別	単位	数量	摘要	
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	1.363		
型枠		m2	4.500		
基礎砕石	RC-40, t=100	m2	7.500		V=0.750m3

1号天端コンクリート

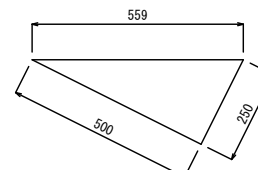
S=1:10



数量表				10m当り
種別	規格	単位	数量	
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.506	
型枠		m2	2.25	

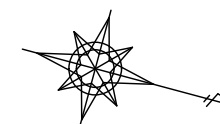
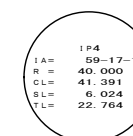
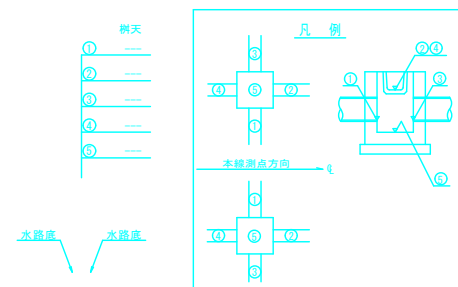
2号天端コンクリート

S=1:10

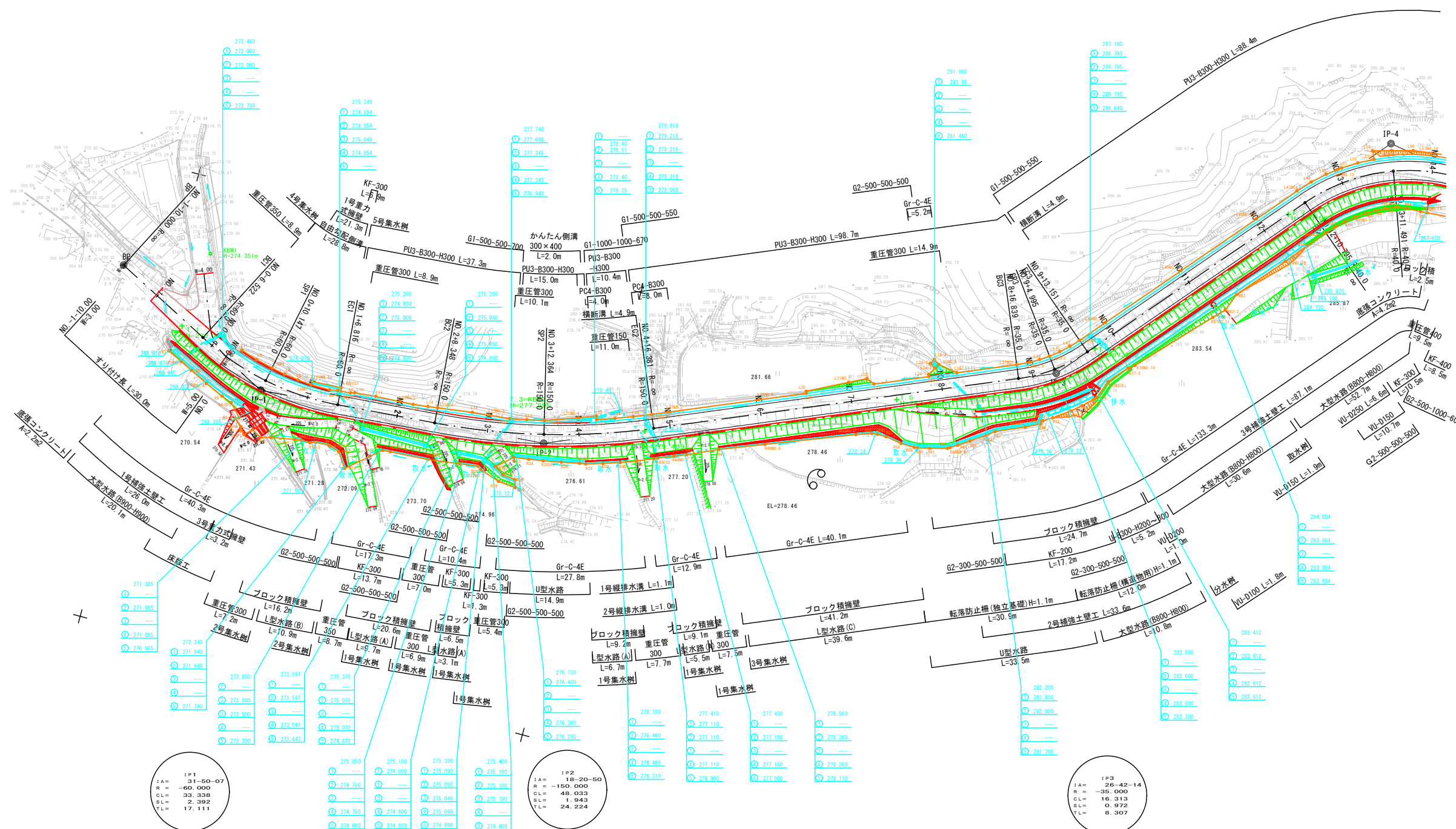


数量表				10m当り
種別	規格	単位	数量	
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.625	
型枠		m2	2.50	

図面番号	9	縮 尺	図示
工 種	道 路 改 良 事 業		
種 別	ブロック積擁壁詳細図 (2)	番 号	2 / 2
路 線 名	篠 4 号 線		
工事箇所	東広島市八本松町正力		
東 広 島 市			

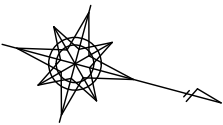


S=1 : 500

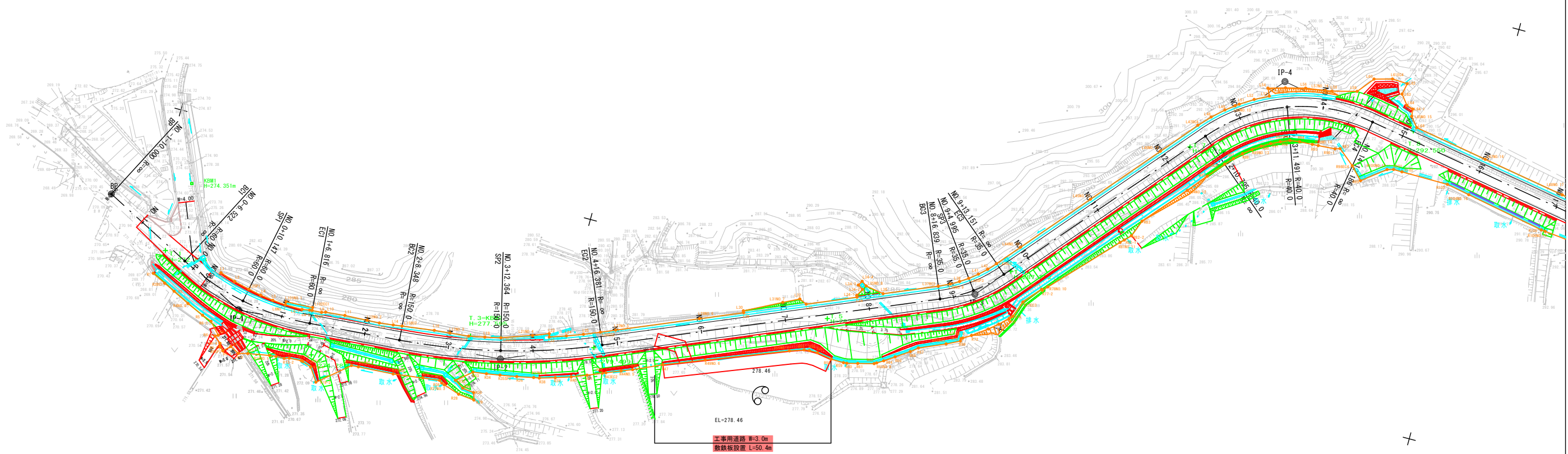


図面番号	10	縮 尺	S=1:50
工 種	道路改良事業		
種 別	排水系統図		番号 
路 綫 名 河 川	篠 4 号 線		
工事箇所	東 広 島 市 八 本 松 町 正 力		
東 広 島 市			

IP4
IA= 59-17-17
R = 40.000
CL= 41.391
SL= 6.024
TL= 22.764

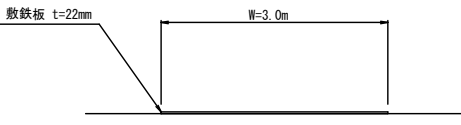


S=1 : 500



工事用道路 (敷鉄板)

S=1:50



IP1
IA= 31-50-07
R = -60.000
CL= 33.338
SL= 2.392
TL= 17.111

IP2
IA= 18-20-50
R = -150.000
CL= 48.033
SL= 1.943
TL= 24.224

IP3
IA= 26-42-14
R = -35.000
CL= 16.313
SL= 0.972
TL= 8.307

図面番号	11	縮 尺	S=1 : 500	
工 種	道路改良事業			
種 別	仮設図（参考図）		番 号	
路 線 名	篠 4 号 線			
工事箇所	東 広 島 市 八 本 松 町 正 力			
東 広 島 市				

参 考 図 書

工事名称 ： 令和 6 年度 生活市道整備事業
篠 4 号線道路改良工事

＜注意事項＞

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

総括情報表

頁0 -0001

			《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 44 東広島市 00-07.06.01(0)		
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 00 補正なし 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
	1	式			
道路土工					Y1E0101 レベル2
	1	式			
路体盛土工					Y1E010103 レベル3
	1	式			
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満					Y1E01010301 レベル4
	10	m3			
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満					SPK24040004 00
	10	m3			単第0 -0001 表
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満					Y1E01010301 レベル4
	40	m3			
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満					SPK24040004 00
	40	m3			単第0 -0002 表
運搬処理工					Y1E010110 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 補足土	30	m3			Y1E01010302レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離10.0km以下(7.5km超)	30	m3			SPK24040002 00 単第0 -0003 表
補足土(ほぐし)	40	m3			Y4999 レベル4
補足土(ほぐし) カワモトリサイクルセンター	40	m3			F0000000001 00
石・ブロック積(張)工	1	式			Y1E0107 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010701 レベル3
床掘り 土砂 小規模	70	m3			Y1E01070102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	70	m3			SPK24040015 00 単第0 -0004 表
埋戻し 小規模	40	m3			Y1E01070103レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	40	m3			SPK24040020 00 単第0 -0005 表
Coブロック工(Coブロック積)	1	式			Y1E010703 レベル3
コンクリートブロック基礎 1号基礎 18N/mm2	35	m			Y1E01070301レベル4
コンクリートブロック基礎 1号基礎 18N/mm2	35	m			V0000000005 00 単第0 -0006 表
コンクリートブロック基礎 2号基礎 18N/mm2	6	m			Y1E01070301レベル4
コンクリートブロック基礎 2号基礎 18N/mm2	6	m			V0000000006 00 単第0 -0008 表
コンクリートブロック積 控35cm 裏コン10cm 滑面ブロック 1:0.5	64	m2			Y1E01070305レベル4
コンクリートブロック積工(練積) 滑面ブロック 18-8-40BB	64	m2			SDT00039 00 単第0 -0009 表
コンクリートブロック積 控35cm 裏コン15cm 滑面ブロック 1:0.5	15	m2			Y1E01070305レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートブロック積工(練積) 滑面ブロック 18-8-40BB	15	m2			SDT00039 00 単第0 -0010 表
胴込・裏込材(砕石) RC-40	18	m3			Y1E01070308レベル4
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	18	m3			SPK24040045 00 単第0 -0011 表
天端コンクリート 1号 18N/mm2	35	m			Y1E01070313レベル4
天端コンクリート 1号 18N/mm2	35	m			V0000000001 00 単第0 -0012 表
天端コンクリート 2号 18N/mm2	6	m			Y1E01070313レベル4
天端コンクリート 2号 18N/mm2	6	m			V0000000002 00 単第0 -0014 表
排水構造物工	1	式			Y1E0109 レベル2
集水枳・マンホール工	1	式			Y1E010905 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場打ち集水桝 3号集水桝 18N/mm2	1	箇所			Y1E01090502レベル4
3号集水桝 18N/mm2 225-500-450	1	箇所			V0000000004 00 単第0 -0015 表
場所打水路工	1	式			Y1E010907 レベル3
現場打水路 L型水路(C) 18N/mm2 B300-H300	40	m			Y1E01090701レベル4
L型水路(C) 18N/mm2 B300-H300	40	m			V0000000003 00 単第0 -0020 表
仮設工	1	式			Y1E0115 レベル2
工事用道路工	1	式			Y1E011501 レベル3
敷鉄板 22×1524×3048,802kg/枚	153	m2			Y1E01150104レベル4
敷鉄板設置	153	m2			S1050041 00 単第0 -0021 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
敷鉄板撤去					S1050043 00
	153	m2			単第0 -0023 表
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間18日					S1050029 00
	33	枚			単第0 -0024 表
※※直接工事費※※ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
仮設材運搬費 敷鉄板					YZZ04001004レベル4
	26.5	t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 7.1km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0025 表
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報…… 対象額……… 率………					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
※※工事価格※※					

本工事費 内訳表

頁0 -0009

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

路体(築堤)盛土
施工幅員2.5m以上4.0m未満
機械構成比: 15.86%

SPK24040004

単第0 -0001 表

1
標準単価: m3 当り
827.03000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.30%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	7.56%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	66.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.60%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

路体(築堤)盛土
施工幅員2.5m未満
機械構成比:

SPK24040004

単第0 -0002 表

1
標準単価: m3 当り
6,330.20000

0.70% 労務構成比: 99.06% 材料構成比: 0.24% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8～1.1t	0.70%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8～1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	90.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.24%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

施工単価表

頁0 -0012

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 24.45% 労務構成比: 63.42% 材料構成比: 12.13% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040002
DID区間無し 距離10.0km以下(7.5km超)

単第0 -0003 表
1
標準単価:

m3 当り
2,826.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=39 距離10.0km以下(7.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 19.87% 労務構成比: 72.99% 材料構成比: 7.14% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0004 表

1
標準単価: m3 当り
2,170.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0014

埋戻し
土砂

SPK24040020
上記以外(小規模)

単第0 -0005 表

1
標準単価:

m3 当り
3,871.10000

機械構成比: 9.48%

労務構成比: 86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0015

埋戻し
土砂

SPK24040020

單第0 -0005 表

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.48%

勞務構成比：

86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

3,871.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

コンクリートブロック基礎

1号基礎

V0000000005

單第0 -0006 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

現場打基礎コンクリート

SPK24040049

単第0 -0007 表

18-8-40BB

基礎砕石有り

1

m3 当り

機械構成比: 2.24%

労務構成比:

68.05%

材料構成比:

29.71%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

76,045.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	0.66%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	18.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	17.71%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
特殊作業員	10.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	25.18%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0018

現場打基礎コンクリート

SPK24040049

單第0 -0007 表

18-8-40BB

基礎碎石有り

1

m3 当り

機械構成比: 2.24%

勞務構成比：

68.05%

材料構成比: 29.71%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

76,045.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

コンクリートブロック基礎 2号基礎

V0000000006

單第0 -0008 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

コンクリートブロック積工(練積)
滑面ブロック

SDT00039
18-8-40BB

単第0 -0009 表

1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_ブロック積工【手間のみ】	1.000	m2			
時間的制約なし					
コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 280×420×350,参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	8.500	個			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.112	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.112	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 C=1 18-8-40BB F=1 18-8-40BB			B=1 - E=2 小型車割増有 H=0.1 裏込コンクリートの厚さ(m) K=8.5 ブロックm2当り使用量(個/m2)		
I=1 滑面ブロック L=1 時間的制約なし					

施工単価表

頁0 -0021

コンクリートブロック積工(練積) 滑面ブロック

SDT00039

單第0 -0009 表

1

m2

当り

18-8-40BB

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

コンクリートブロック積工(練積)
滑面ブロック

SDT00039
18-8-40BB

単第0 -0010 表

1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_ブロック積工【手間のみ】	1.000	m2			
時間的制約なし					
コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 280×420×350,参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	8.500	個			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.168	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.168	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 C=1 18-8-40BB F=1 18-8-40BB			B=1 - E=2 小型車割増有 H=0.15 裏込コンクリートの厚さ(m) K=8.5 ブロックm2当り使用量(個/m2)		
I=1 滑面ブロック L=1 時間的制約なし					

施工単価表

頁0 -0023

コンクリートブロック積工(練積) 滑面ブロック

SDT00039

單第0 -0010 表

1

m2

当り

18-8-40BB

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

胴込・裏込材(碎石)

SPK24040045

単第0 -0011 表

間知・平・連節・緑化ブロック

RC-40

1

m3 当り

機械構成比: 9.68%

労務構成比:

66.52%

材料構成比:

23.80%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

6,906.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	9.68%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	34.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40～0mm	19.63%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 間知・平・連節・緑化ブロック			B=1 RC-40		

施工単価表

頁0 -0025

胴込・裏込材(碎石)
 間知・平・連節・緑化ブロック

SPK24040045

單第0 -0011 表

RC-40

1

m3 当り

機械構成比: 9.68% 勞務構成比:

66.52%

材料構成比: 23.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

6,906.50000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

天端コンクリート
1号

V0000000001

單第0 -0012 表

10 m 当り

18N/mm²

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

現場打天端コンクリート

SPK24040052

単第0 -0013 表

18-8-25(20)BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 2.63%

労務構成比:

64.40%

材料構成比:

32.97%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

60,947.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	2.63%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	21.70%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	15.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.81%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	31.42%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPC00003 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

頁0 -0028

現場打天端コンクリート

SPK24040052

單第0 -0013 表

18-8-25(20)BB

一般養生

機械構成比: 2.63%

勞務構成比：

64.40%

材料構成比: 32.97%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価：

m3 当り

60,947.000000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

天端コンクリート
2号

V0000000002

單第0 -0014 表

10 m 当り

18N/mm²

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

3号集水枋

18N/mm²

V0000000004

單第0 -0015 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0016 表

1

m3

当り

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

標準単価：

33,825.00000

機械構成比：0.00%

労務構成比：42.01%

材料構成比：57.99%

市場単価構成比：0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	57.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155

単第0 -0017 表

小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m2 当り
8,483.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	43.77%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	31.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0033

均しコンクリート
無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB
機械構成比: 0.00%

SPK24040153
人力打設
労務構成比: 29.40%

材料構成比: 70.60%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0018 表

1
標準単価:

m3 当り
28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
普通作業員		13.20%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員		7.51%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役		6.69%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)		70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			TTPCD0010 TTPT00343
積算単価				積算単価			E9999
A=1 C=2 H=2 K=1	無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 現場内小運搬無し -(全ての費用)			B=3 F=2 J=2	人力打設 一般養生 小型車割増有		

施工単価表

均し型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
均しコンクリート
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0019 表

1
標準単価:

m2 当り
4,714.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	58.35%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	20.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.13%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施工単価表

頁0 -0035

L型水路(C)

V0000000003

單第0 -0020 表

18N/mm²

B300-H300

10

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

敷鉄板設置

S1050041

單第0 -0021 表

100

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊_山積0.8m3

S9035

單第0 -0022 表

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

敷鉄板撤去

S1050043

單第0 -0023 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

敷鉄板賃料

S1050029

單第0 -0024 表

$$\underline{22 \times 1524 \times 3048,802 \text{kg/枚}}$$

貸貸期間18日

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬	S1000007
運搬距離 7.1km	製品長 12m以内

單第0 -0025 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

基本運賃

運搬距離 7.1km

S1000009

製品長 12m以内 運搬質量 26.5t

單第0 -0026 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

單第0 -0027 表

式 当り

[illegible]

本 工 事 費 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 目	単位	実数量	積算数量	摘 要
本工事費							
	道路土工						
	盛土工	路体盛土	2.5≦W<4.0	m3	12.0	10	
			1.0≦W<2.5	m3	41.8	40	
			W<1.0	m3	3.0	3	
	運搬処理工	補足土	ほぐし	m3	39.5	40	
		土砂運搬処理	補足土	m3	33.0	30	
	石・ブロック積（張）工						
	作業土工	床堀	土砂	m3	72.8	70	
		埋戻	種別 D	m3	38.4	40	
		基面整正	土砂	m2	28.9	29	
	ブロック積工	コンクリートブロック積	控35cm t=10cm	m2	64.2	64	
		〃	控35cm t=15cm	m2	14.5	15	
		裏込碎石	RC-40	m3	17.8	18	
		目地材	エラストイト t=10mm	m2	2.5	3	
		吸出防止材	300×300	枚	6.0	6	
		水抜パイプ	Vuφ150	m	3.1	3	
		1号小口止		ヶ所		0	
		2号小口止		ヶ所		0	
		1号基礎工	B520-H300	m	34.9	35	
		2号基礎工	B550-H350	m	5.5	6	
		1号天端コンクリート		m	35.3	35	
		2号天端コンクリート		m	5.9	6	
	排水構造物工						
	作業土工	床堀	土砂	m3		0	ブロック積工に含む
		埋戻	種別 C	m3		0	〃
			種別 D	m3		0	〃
		基面整正	土砂	m2		0	〃
	現場打ち水路工	L型水路 (C)	B300-H300 (1:0.5)	m	39.6	40	

本 工 事 費 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 目	単位	実数量	積算数量	摘 要
	集水樹工	3号集水樹		ヶ所	1.0	1	
	仮設工						
	敷鉄板設置	W=3.0m		m	50.4	50	
				m2	153.3	153	

道 路 土 工

土 量 配 分

切土工

掘削工種	土 質	単位	発生土量
オープン	土 砂	m ³	0.0
片 切	土 砂	m ³	0.0
合 計			m ³ 0.0
表土剥取	粘性土	m ³	0.0

作業土工

掘削工種	土 質	単位	発生土量
機 械	土 砂	m ³	72.8
合 計			m ³ 72.8

注) 作業土工は、擁壁・ブロック積・排水工・他の合計

土 質	単位	発生土量
土 砂	m ³	72.8

盛土工

種 別	細 別	単位	土 量
路 床	4.0 ≤ W	m ³	0.0
	2.5 ≤ W < 4.0	m ³	0.0
	1.0 ≤ W < 2.5	m ³	0.0
	W < 1.0	m ³	0.0
路 体	4.0 ≤ W	m ³	0.0
	2.5 ≤ W < 4.0	m ³	12.0
	1.0 ≤ W < 2.5	m ³	41.8
	W < 1.0	m ³	3.0
埋土		m ³	0.0
補強土盛土			m ³
合 計			m ³ 56.8

作業土工

種 別	埋 戻 幅	単位	土 量
A	W ₂ ≥ 4m	m ³	
B	W ₁ ≥ 4m , W ₂ < 1m	m ³	
C	1m ≤ W ₁ , W ₂ < 1m	m ³	0.0
D	W ₁ < 1m , W ₂ < 1m	m ³	38.4
合 計			m ³ 38.4

注) 作業土工は、擁壁・ブロック積・排水工・他の合計

$$30.1 \times 0.9 = 27.1$$

$$42.7 \times 0.9 = 38.4$$

残土処分	粘性土			
補足土		56.8	-	27.1
			29.7	× 1.11
			29.7	× 1.33

(締固)

(地山)

(ほぐし)

道路土工数量計算書

盛土工

NO.

[illegible]

石・ブロック積（張）エ

石・ブロック積（張）工数量集計表

[illegible]

石・ブロック積（張）工数量計算書

作業土工

NO.

[illegible]

ブロック積工集計表

測 点	平均 延長 (m)	コンクリートブロック		裏込碎石 RC-40 (m3)	目地材 t=10mm (m2)	吸出防止材 300×300 (枚)	水抜きパイプ VU150 (m)	小口止		基礎工		天端コン		摘要
		t=10 (m2)	t=15 (m2)					1号 (ヶ所)	2号 (ヶ所)	1号 (m)	2号 (m)	1号 (m)	2号 (m)	
NO. 5+9. 9～NO. 7+9. 8右側(1)	35. 05	64. 2		13. 8	2. 5	5. 0	2. 5			34. 9		35. 3		
NO. 5+9. 9～NO. 7+9. 8右側(2)	5. 73		14. 5	4. 0		1. 0	0. 6				5. 5		5. 9	
合 計	40. 78	64. 20	14. 50	17. 80	2. 50	6. 00	3. 10			34. 90	5. 50	35. 30	5. 90	

石・ブロック積（張）工数量計算書

ブロック積擁壁 (盛土・1:0.5, t=100)

NO.

測 点 名 称	平均距離	H	積ブロック			裏込碎石			備 考
			SL	平 均	平 積	GV	平 均	立 積	
NO. 5+9. 95		0. 750	0. 84			0. 0			
NO. 6	10. 05	1. 203	1. 34	1. 09	11. 0	0. 2	0. 10	1. 0	
NO. 7	20. 00	2. 317	2. 59	1. 97	39. 4	0. 7	0. 45	9. 0	
NO. 7+5. 334	5. 00	2. 617	2. 93	2. 76	13. 8	0. 8	0. 75	3. 8	
合 計	35. 05				64. 2			13. 8	
平均 S L		64. 2 / 35. 05 = 1. 83 m						平均 H = 1. 64 m	
目地材	ヶ所数	35. 05	/	10. 0	- 1	=	3	ヶ所	
	面積	1. 83	×	0. 45	×	3	=	2. 5 m ²	
吸出防止材		(64. 2	-	0. 750	×	35. 05	×		
		1. 1180	) /	7					= 5 枚
水抜パイプ		0. 45	×	1. 1180	×	5	=	2. 5 m	
1号基礎工		展開図より					=	34. 9 m	
1号天端コンクリート		展開図より					=	35. 3 m	

石・ブロック積（張）工数量計算書

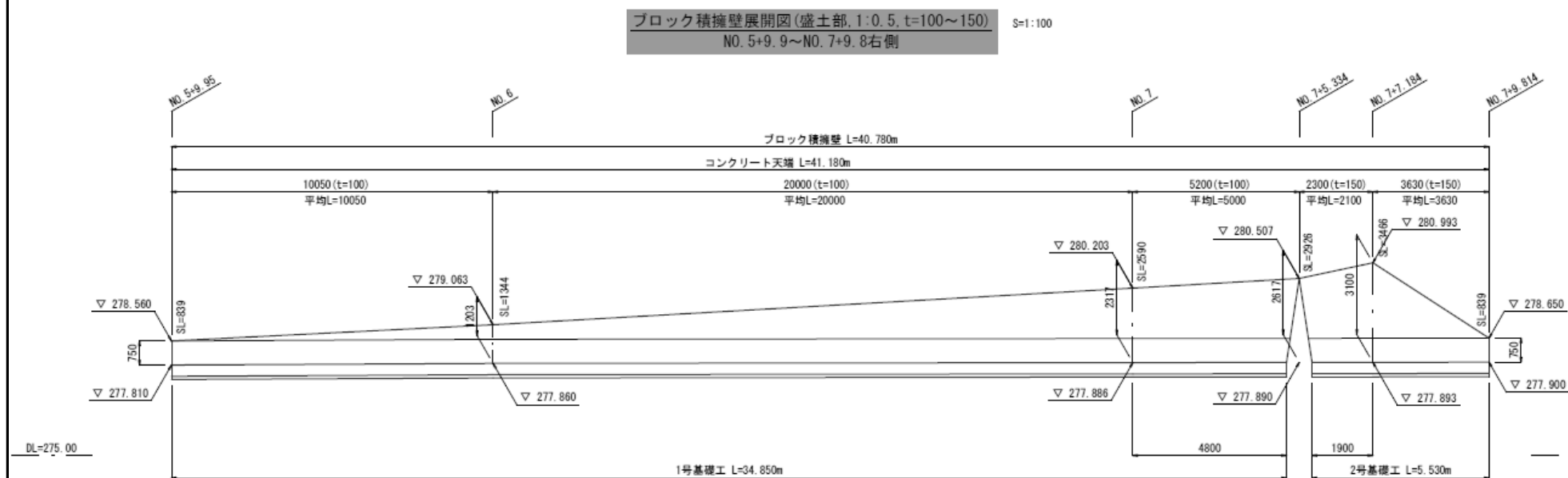
NO. 5+9. 9～NO. 7+9. 8右側(2)

ブロック積擁壁（盛土・1:0. 5, t=150）

NO.

測 点 名 称	平均距離	H	積ブロック			裏込碎石			備 考
			SL	平 均	平 積	GV	平 均	立 積	
NO. 5+9. 95		2. 617	2. 93			0. 8			
NO. 6	2. 10	3. 100	3. 47	3. 20	6. 7	1. 1	0. 95	2. 0	
NO. 7	3. 63	0. 750	0. 84	2. 16	7. 8	0. 0	0. 55	2. 0	

展開図



排水構造物工

排水構造物工数量集計表

[illegible]

排水構造物工 延長調書

L型水路 (C)

左側			右側		
測点	延長	摘要	測点	延長	摘要
			NO. 5 + 10.8 ~ NO. 7 + 9.5	39.6	
左側計	m		右側計	39.6 m	
		左右合計		39.6 m	

排水構造物工 箇所調書

3号集水枋

左側			右側		
測点	箇所	摘要	測点	箇所	摘要
			NO.5 + 10.4	1.0	
左側計	箇所		右側計	1.0 箇所	
		左右合計		1.0 箇所	

仮設工

仮設工数量集計表

[illegible]

